

### 社長就任にあたって

新社長就任を打診された際、塚原前 社長から受け取ったメッセージは「ス ピードと変革が求められる新しい時代の リーダーとして営業の経験と肌感覚を存 分に活かしてほしい」というものでした。

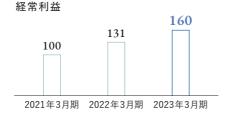
私は一時期、法務審査部長や監査役を経験しましたが、基本的には営業畑の人間です。営業の基本は人と人。組織においても「人材」は成長の原点です。三愛オブリグループには多様な能力を持つ人材が数多くいることを私は販売の現場を通して知っています。たくさんの顔が浮かびます。全員の力を組織に結集し変化の激しい経営環境を前向きに乗り越えていきたい。そのためには厳しくも楽しい組織を作る。そのような

思いから新社長就任の申し出を引き受けました。

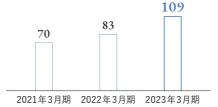
### 中期経営計画の最終年度を迎えて

2021年度から2023年度までの中期 経営計画「変貌する未来への挑戦 Challenge 2030」の2年目となる2023 年3月期の当社グループの決算につい て、売上高は前年比8.2%増の6,478億 円となりました。経常利益は前年比 22.2%増の160億円、親会社株主に帰 属する当期純利益は前年比31.2%増の 109億円となり、中期経営計画の財務 目標である「連結経常利益140億円以 上、連結ROE8%以上、連結配当性向 30%以上」に向け業績は好調に推移し ました。最終年度となる本年も残り半年 連結財務データ(億円)





親会社株主に帰属する当期純利益



となりましたが、各事業部が低炭素・循環型社会に対応した2030年の目指す姿に1年でも早く近づくよう、経営資源を成長事業に振り向け事業ポートフォリオの進化を図っていきます。

## サステナビリティ経営を進める

2021年12月に策定した「サステナビリ ティ基本方針」のもと、2022年度はサステ ナビリティ委員会と下部委員会の再編を 行いました。同年11月にはTCFD(気候関 連財務情報開示タスクフォース)を開示 し、気候変動が当社グループの事業に与 えるリスクとビジネスチャンスを両面から 分析しました。またTCFDの中で自社グ ループのCO2排出量について2030年度 までに2019年度比30%削減という目標 を掲げましたので、その進捗も公表して いきます。また2022年はサステナビリティ に関する重要課題(マテリアリティ)を特 定し、SDGsとの関連を整理しました。気 候変動への対応は当社が挑戦すべき課 題であることはもちろん、社会課題を自 社の事業や技術で解決するCSV(共有価 値の創造)を改めて意識し、事業戦略に この視点を含めることでサステナビリティ を経営に統合していきます。

# 次の成長に向け 不撓不屈の精神で挑む

時代は一足飛びに進みません。変化 にばかり気を取られ本質を見失うこと のないよう、既存事業においては効率 的に利益を追求し、経営環境の変化に 柔軟に対応できるよう財務基盤を整え ていきます。三愛オブリグループは販 売会社ではありますが、同時にエネル ギー施設の安全操業に長けた技術を 持っています。また化学品の研究施設 も保有しています。その優位性を磨き 上げることでグループ全体としてさらな る成長を遂げていきたいと考えていま す。「選択と集中」ではなく「集中」した 先に「選択」が必然的に見えてくる、こ れが当社の基本的な経営姿勢です。

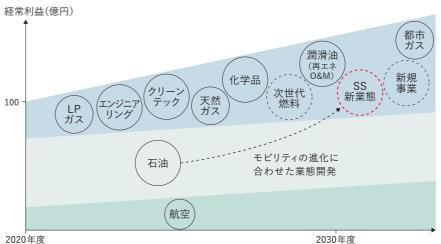
それと同時に事業開発部においては、エネルギー分野にとらわれることなく新規事業に向け積極的な活動が行われています。社員一人ひとりが三愛精神、倫理行動憲章を体現し、新しい時代に向け自律的、創造的に仕事に向き合うことで、社会により良い価値を提供していくことができる。これからも価値創造の歩みを緩めることなく前進してまいります。



### サステナビリティ基本方針

当社グループは、経営理念である 三愛精神「人を愛し国を愛し勤め を愛す」とコーポレートブランド 「Obbli」のもと、社会インフラの一 端を担う企業としてエネルギーの 供給責任を果たすとともに、低炭 素・循環型社会に対応した事業 ポートフォリオに進化させ、人々の 生活と産業を支えるパートナーと なることを目指しております。当社 グループの役員および社員は、以 下の5項目を基本姿勢とし、健全 かつ透明性の高い経営を通じて環 境や社会の課題解決に取り組み、 持続可能な社会の実現に貢献して まいります。

# 事業ポートフォリオの進化



#### 私たちの基本姿勢

- 誠実・正直に行動します。
- ★令、ルールを順守します。
- 自然環境・地域社会との関係を 大切にします。
- 顧客の満足を追求します。
- 自ら学び、自ら考え、自ら 行動します。

09 三愛オブリグループ サステナビリティレポート 2023